

論

説

ウクライナで3番目の大都市オデッサは、「黒海の真珠」と呼ばれ、街のシンボル「ポチヨムキンの大階段」は世界に知られる。

港を望む全192段、落差27㍎で、踊り場10カ所の幅を上段から徐々に広げ、上からは踊り場だけ、下からは階段しか見えない。

セルゲイ・エイゼンシュテイン監督は、この雄大な



宮武 剛

ウクライナの危機

階段を1925年公開の無声映画「戦艦ポチヨムキン」の主舞台にした。日露戦争を終結へと導く第1次ロシア革命時の反乱(05年)である。

黒海での軍務は過酷なうえ、ウジ虫がわく肉のスープに抗議した水兵たちは銃

撃で群衆はバタバタ倒れ、階段は血に染まる。撃たれた男児を抱いて母親は命乞いするが、共に射殺される。乳母車の赤子をかばう若い母も撃たれ、弾みで乳母車が一段、また一段と加速しながら転げ落ちていく。オペラハウスや美術館を暴言だろう。

压制・侵略と闘う遺伝子

殺を宣告される。乗組員の怒りは爆発し、艦長らを海上に投げ、艦を制圧した。

帝政ロシアの苛政を象徴させる創作だが、「映画史に放り投げ、艦を制圧した。上で最高の6分間」と評される。

石畳で結ぶ街並みは、石材を掘り出して作られ、迷路のような坑道が街の真下にあること。

オデッサへ寄港する同艦を歓迎し、大階段には市民が鈴なりになった。そこに

丸腰の市民を、軍隊が容赦なく襲う光景は、いまウクライナ各地で、ロシア軍の空爆・ミサイル・戦車に

第2次世界大戦では、ドイツ・ナチス軍の侵略に対する歴史の真実を描いた。歴史は繰り返され、我々に国境を超える連帯と支援を迫っている。(本紙論説委員)

みやたけ・ごう NPO法人福祉フォーラム・ジャパン副会長、学校法人・社会医学技術学院理事長

逃げ惑う市民の姿と重なり合う。目を覆う現実の非道

は、民衆弾圧の軍隊や侵略戦争がまず弱者を犠牲にする歴史の真実を描いた。歴史は繰り返され、我々に国境を超える連帯と支援を迫っている。(本紙論説委員)